

荷造りの達人!!

ワンポイントアドバイス

1 まずは準備から

■ 梱包資材の準備

荷造りを始めるにあたって、まずは梱包資材を集めます。
当社では、荷造り用のダンボール、ガムテープ、布団袋、食器紙をお客様の必要な数だけプレゼント!あとあると便利な、(新聞紙、タオル、軍手、はさみ、カッター、ごみ袋、荷造りひも、筆記用具)等をご準備下さい。

■ 荷物の分類・仕分け

荷物を大きく種類ごとに仕分けします。
小物類(食器・瓶・衣類・ふとん・書籍・人形ケース・生活用品・雑貨・玩具など)・家具類・家電製品等に仕分け、新居での使用する部屋ごとに荷造りしましょう。



2 さあ梱包しよう!

■ 荷造りのポイント

その1 普段使わないものからかたづけよう!

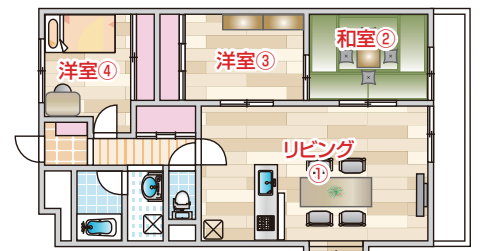
雑誌や本などの重いもの、節句の人形などの季節ごとにしか使わないもの、来客用の食器や布団類、衣類などをダンボールにつめ、重いものを下にして積み重ねておきましょう。

その2 ダンボールの中身がわかるようにしましょう!

ダンボールの外から見て、なにが入っているのか一目でわかるようにマジックペンなどでしっかりと書き込み、箱を開けなくても整理できるように工夫しましょう。新居で使う部屋やシーンごとに箱詰めし、あらかじめ部屋の番号を割り振っておき、ダンボールにも番号を書いておくと、引越作業がスムーズにいきます。また、引越後の荷物整理も楽になります。

その3 新居ですぐに使うものをまとめておこう!

引越後すぐに必要な最低限のもの(食器類、衣類、荷物整理や清掃用の道具類、洗面用具、タオル、テレビ・エアコンなどのリモコン、洗面用具、トイレトーパーなど)、また旧居でも引越当日まで必要なものはまとめて最後に梱包しましょう。

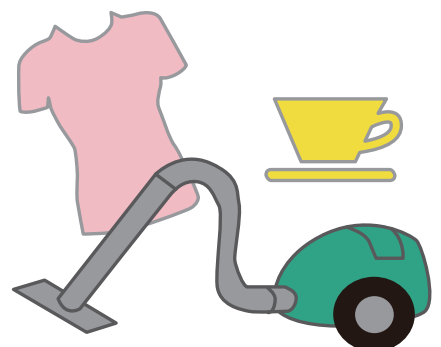


新居の見取り図をつくっておくと便利です。

お引越をスムーズに運ぶためには、面倒でも新居の見取り図をつくっておくと効果的です。部屋ごとの番号を決め、それぞれの荷物に運ぶ部屋の番号を記入しておきます。引越当日にご説明いただければ、思い通りに荷物が納まっているというわけです。

注意

貴重品、現金、宝石、書面、カギ、危険物は引越荷物の中に入れてられません。

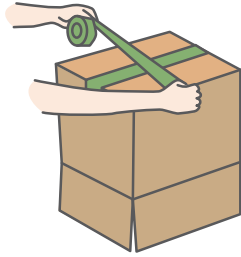


3

それぞれのもの特有の荷造りポイント

重い物の箱詰め

書籍や食器類など、重い物を箱に入れる時には、ダンボール箱の底をガムテープで絵のように合計2箇所へしっかり貼ってください。



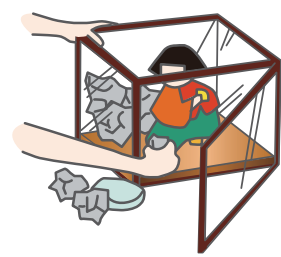
ハンガー BOX

リースをご用意の方には、スーツなどハンガーにかかっている衣類は、お引越当日当社にてハンガー BOX に入れますので、そのまま結構です。



人形ケース

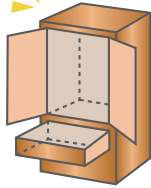
中の人形が動かないように、紙やエアキャップを詰め込んでいきます。あとはヒモでくくるか、箱があればそれに入れてください。



その他のお荷物

■ 家具・タンス(大物)

中は全て空にしてください。

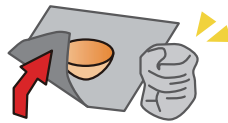


■ 衣装ケース

衣類はそのままで構いませんが、本やワレモノは入れないでください。

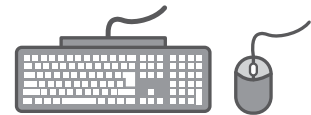
■ 食器類

新聞紙やクッションで包み、できるだけ同じ形の物を重ねて隙間に新聞紙を詰めて動かないようにしてください。



■ 小物類

箱に入る大きさの物は箱に詰めてください。



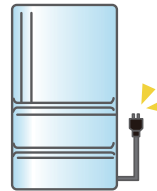
■ パソコン

データのバックアップを必ずとっておいてください。



■ 冷蔵庫

中は全て空にし、引越の前日にはコードを抜いておいてください。



■ ダンボール

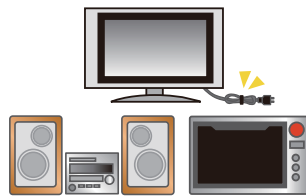
お届け先の部屋番号、行き先を側面に記入してください。



※大きい箱には軽い物【衣類等】、小さい箱には重い物【本・食器等】を収納するようにお願いします。

■ 電化製品

コンセント、配線を全て抜いてまとめてください。購入時の箱があればその中に入れてください。なければそのままの状態で構いません。



■ 布団

布団をたたんで布団袋に入れます。布団袋をひっくり返して梱包します。



× 間違った梱包の仕方



ヒモがけ

結び目がほどけて荷物がばらける恐れがあります。ダンボールをご利用ください。



袋詰め

袋が破れて荷物がとび出す恐れがあります。ダンボールをご利用ください。



箱の盛り上がり

上の荷物が置けないので作業効率が低下します。盛り上がる分は別のダンボールに入れてください。



底の組み込み

重いものを入れた場合、底が抜ける恐れがあります。ガムテープでとめてください。

家具、大型の家電品、照明器具、ベッド等、その他ダンボールに入らない家財などは、お引越当日当社にて梱包いたしますので、そのまま結構です。

注意

梱包作業は、作業開始までに終了してください。
万が一間に合わなかった場合、お運びができない場合があります。
(梱包・開梱のエプロンサービス等をご利用ください。)